

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)給配水装置点検等事業			
予算科目	1 款	1 項	2 目	
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	隅田 英久	担当責任者:	堀内 英幸
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道利用者)			
根拠法令等				
事業の目的	給水装置工事後に竣工検査等を行い、水道水の安定、安全給水に努める。			
事業の内容	給水工事申込者から申請された給水装置工事が、基準等に適合しているかどうかの検査を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	2,706	2,668	2,668	2,668
	人件費	7,199	6,443	1,887	6,443
	合計	0	9,111	4,555	9,111
人件費 内訳	人工数	0.90	1.12	0.56	1.12
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	2,668	2,668	2,668
	人件費	7,199	6,443	1,887	6,443
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,905	9,111	4,555	9,111

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
給水装置検査件数	件	203	150	97	200

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	2,500	2,500	2,500	0	0	7,500

成果指標				
成果指標	水道事業に必要不可欠であるが、人件費のみの事業であり、成果指標の設定は困難である。			
指標設定の考え方	水道事業に必要不可欠であるが、人件費のみの事業であり、成果指標の設定は困難である。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	182	150	0	0
実 績	203	200	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	住宅開発が少しずつ上向き傾向にあり昨年度と同等の申込件数となっているが、経済情勢により申込件数が変動することから予測が困難である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本事業を実施することで、誤接合や漏水・盗水などを未然に防ぎ安全で安定した給水が確保できることから、本業務は必要不可欠なものであると考える。今後においても点検従事者の知識・技術力の向上に努めると共に、変動する業務量に対しては課員相互の協働体制の下、柔軟に対応する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題